



発行所 飯田市公民館
 編集人 龍共印刷株式会社
 印刷所 龍共印刷株式会社
 龍共印刷株式会社
 上郷町黒田22-5353

8月末

男	3,116人
女	3,318人
世帯数	1,827戸

人形達が運ぶ熱い風

人形劇カーニバル'92飯田



今年で十四回を数える人形劇カーニバル。年々規模が大きくなると同時に、地域に定着したイベントになっていると言えよう。

数年前から、人形劇を観るだけでなく自分達で演じて楽しもうと、数多くの人形劇サークルが誕生しているが、今年も多く市民劇団が上演している。

さらに、人形劇そのもの以外にも、カーニバルを取り巻く環境も変化してきた。中央公園のカーニバルステーションの定着、飯田青年会議所が提案した人形劇モニメントの設置など、地域づくりのうねりが感じられた。今年のカニバルだった。

竜丘地区では、早くから公民館を中心に取り組みがなされ当日を迎えた。八月六日の長野原区民センター

での公演を皮切りに、各区と小学校の計六ヶ所での公演は、どこも盛況で暑い中熱心に演じる劇団と、それを食い入るように見つめる観客、さらにワッペン販売から会場整理、司会進行など裏方でカーニバルを支える多くの人々が一体となった公演が行われた。

小学校体育館では、群馬大学人形劇サークル「桑の実」の皆さんの「ためぎの糸車」を上演。畏に掛かっていたはずの糸が、助けをくれたおばあさんの為、糸を紡いで恩返しをする、という話で、可愛いためぎの動きが印象的だった。

続いて、米国から参加の「マギー・ペット」の四人組が「魔法使いとクローア」と仲間たちを上演した。魔法使いに扮したマギーさんが、小脇に竜を抱えた姿で登場。日本語で分かり易くテンポのいい腹話術で観客を大いに沸かせた後、奥さんと二人の子供さんが、米国と日本のネズミの交流を描いた影絵を上演した。最後に家族全員で歌を披露し会場は観客約三百五十人の拍手に包まれた。

公演の後、両劇団の皆さんと、地区実行委員会との交流会が開催された。交流会ではお土産の贈呈や駄科の伊東正直さんの太鼓、また「りんごん」の踊りも披露された。外国からのお客様さんだったが、日本語も堪能で家族での参加というところもあり、終始和やかな交流会であった。

この他にも各地区会場では楽しい人形劇が、多くの観客を沸かせた。特に九日に駄科公民館を会場とした劇団「はてな」は、四百人の観客を集め、公民館に入り切れない観客が、窓から覗き込む中、コンサートあり、クイズありと、プロの演技を見せてくれた。

多くの人が力を合わせ、今年のカニバルは成功だったと言えよう。しかし、実

人形劇カーニバル、92飯田が去る八月六日から九日まで開催された。参加劇団は昨年より多い二百六十五劇団、千八百八十一人。竜丘地区では、米国から参加の「マギー・ペット」をはじめとして十二劇団が六会場で上演した。観客数は延べ千七百七十六人だった。どの会場も熱気に包まれ盛況のうちに幕を閉じた。

虫が住める水辺環境に

去る七月五日に、「虫が住める水辺環境講座」のメンバーが中心となって、蜚の幼虫の餌となる「カワニナ」の保護移動が、時又駅のプラン近隣の小川で行われた。

数年前より蜚の生息が確認され、付近の人達も蜚が舞うのを楽しんできたが、この度、小川に隣接する空き地の駐車場造成工事のために、「カワニナ」の棲める近くの川へ、五百匹程が一時避難となった。



雨の中での引越し作業

七月下旬に、元の川へ無事に帰され、「講座」のメンバーは、「来年駐車場を置いて、観察会をしたい。」

竜丘再発見

一寸昔の時又駅は

「時又駅」で何があったのか、この様な光景を考えられますか。ひと昔前とは随分変わった事でしょう。竜丘に暮らしている人なら、かなり多くの方が利用していると思われまます。また竜丘以外の方々も、かなり利用されたでしょう。以前は、通称「伊那号・天竜号」と呼ばれた電車が通っていた頃は、東京方面へ朝一番で出かけた、最終の天竜号止まりで、大きな荷物を持って帰ってきたり、また見送り、出迎えといった光景をよく見かけましたが、交通網の変遷により、今は中央高速バスになって

「時又駅」で何があったのか、この様な光景は、まず見かけの事がなくなってしまう。また駅には駅員が常時いて、切符を売ったり、タブレットの交換など、忙しそうに働いていました。駅の近くに引込線があったり、倉庫が有り、そのまわりには大豆が落ちていたりして、人の動きも今よりはあったと感じますし、何よりも、子供達のよい遊び場でした。最近の駅に立ち寄りた方は、そう多くはないでしょう。どうしても社会に出て自動車等に乗り出すと、駅迄行って電車に乗るといふのも、なかなか、めんどくさいものです。駅の様子は



と言うと、国鉄民営化もあり、時又駅だけなく、駄科駅も駅員さんは一人もおりません。今では机も切符も置かれていない駅舎の中は、何とも寂しさを感ずります。切符を買う場合には、電車に乗ってから車掌より購入するレシートみたいな切符でいいでしょうか。

と、駅員がいない分、案内の看板やお知らせが幾つも目立ちます。そして改札口にある、使用済の切符はこの箱に入れて下さい」と書いてある箱が印象的でした。以前とは随分様変わりを感じた駅ですが、たまには電車に乗るのも、青春時代を思い出せるよい機会ではないでしょうか。

災害シーズン 大丈夫?

いよいよ九月に入り本格的な台風シーズンになってきました。皆さんの台風に對する備えは万全ですか？

突風や大雨による崖崩れ・浸水による災害を最小限にする為、突風が飛びそうなる物は固定するなどの予防措置を取りましょう。

いざという時の為に「懐中電灯」「携帯用ラジオ」などを用意しましょう。電池の交換も忘れずに。他にも「保存食」などの用意もしておくことが大切です。

いつ起こるか判らない災害に地震災害があります。地震は、断層を境に地盤が急激に移動することで地面が揺れ、その揺れにより

建物物が倒れたりするのです。過去の地震災害では、地割れや山崩れ、さらには二次災害として火災を引き起こした大きな被害を受けてきました。そうした被害の様子から、地震が起きたらまず自分の身の安全を確保し、つぎに火事を出さないようにし、もし出火してしまったら早く消すようにしてください。また毎年行われている竜丘地区地震総合防災訓練に参加することなど、普段でできない訓練を通して非常時に備えることも大切です。天災は忘れたころにやってくることをくれぐれも忘れておきましょう。

建物物が倒れたりするのです。過去の地震災害では、地割れや山崩れ、さらには二次災害として火災を引き起こした大きな被害を受けてきました。そうした被害の様子から、地震が起きたらまず自分の身の安全を確保し、つぎに火事を出さないようにし、もし出火してしまったら早く消すようにしてください。また毎年行われている竜丘地区地震総合防災訓練に参加することなど、普段でできない訓練を通して非常時に備えることも大切です。天災は忘れたころにやってくることをくれぐれも忘れておきましょう。

最近の女性は強くなったと言われているが、本当にそうでしょうか？

若い女性の間では、アツシイ君にミツグ君などと男性は尻に敷かれているのではないかと思われますが、それは単にわがままな気がしますが、やはり強いのは、「母」ではないでしょうか。

家もきりもりし、さらに勤めにも出て頑張るお母さん。夫婦共稼ぎが増え、最近では専業主婦という方はあまり見受けられないのではないのでしょうか。

世の中は女性の社会進出で、男女平等だと叫ばれて変化してきているにもかかわらず、家の中を見るときどうでしょう。お父さんは家へ帰れば、あー疲れた。酒！飯！風呂！……ひと声かければ何でも目の前に出て来るのに、お母さんはそうは行きません。疲れていても家族の為に、はいはいと言っではせせと働いていませんか？それが当たり前で、しまつて良いのでしょうか？お母さんだって外で働いて帰って来るんですよ。

中には一緒に家事をしてお父さん方もいると思えますが……。とにかくお母さんはめし使っても何でもありません。一人の人間なのだから夫婦で助け合っているのです。お互いが良いパートナーでありたいと思うのは女性だけなのではないでしょうか。

結婚してしまつと自分のやりたい事が出来ないとかぶやくお母さん。それに比べゴルフだパチンコだとお父さんは休日忙しい。たまにはお母さんにも休日をおあげたい気がしませんか。女性だってやはり自分の仕事や趣味を持って頑張っている人はステキですよ。

投げて、打って、走って 真夏の25時間ソフト熱く燃える!!

竜ちゃん投げて、丘ちゃん打った！去る八月一日午後三時にサンヒルズ飯田・桐林グラウンドで開幕した竜丘二十五時間ソフトボール大会は、小・中学生からママさんソフト、六〇オソフト他多数の参加チームの協力のもと、翌二日の午後四時まで盛大に行われた。

竜丘夜間ソフト連盟（小林積会長）は、発足して十数年を数え、現在十一チームが参加して春秋の二シーズン熱戦を繰り広げている。竜丘地区民待望の桐林グラウンドが照明設備も充実して完成し、更にその周辺には若者が地元で定着できる環境も整えられた。健康で活気にあふれ暮し易い竜丘へと変わりつつある今、若男女が気楽に楽しめるソフトボールを通して多くの地区民の親睦を深め、二十五時間のロングランという



今、いったい、何点かな？

話題性も含めて地域づくりの一翼を担うことができ、連盟が中心となり企画された。

地区名から「竜ちゃんズ」「丘ちゃんズ」に分かれ、各チーム二時間の責任時間に思う存分ゲームを楽しみながら延々と回を重ねた。球場フェンスに長々と貼られたスコアボードには、回を追うごとに計算機を要するほどの得点書きこまれ



ナイス、バッティング!!

海に向うでは時間同じくしてバルセロナ五輪が開催され、連日の日本選手の大活躍に参加者の中には睡眠不足の目をこすりながらホームランを飛ばす選手もいて、応援席を沸かせた。

深夜になって雨による何

学校も土曜日が休みに!

週五日制が教育の場にも導入される事になりこの九月から学校五日制として実施される事になった。

本年度中は段階的に取入れられ、月一回第二土曜日が休みとなる。将来的には完全五日制に向けて社会情勢に合わせ進めて行くもの

この様な政策が取り入れられる様になった背景には、今の子供達の生活があまりに勉強中心である事、それに伴い時間に縛られゆとりがない生活を強いられる子供達が増加しているという事実があげられる。

教育の場といわれる学校も、そこで働く先生方にとっては職場であり、労働の条件としての五日制を無視する事は現在の社会の流れを見てもできないであろう。

しかし、学校五日制に対する様々な情報は先生達の労働環境を改めるとい

たのではないかと推測されている。

教育委員会では、さら

調査を継続することにしており、今後の成果が期待される。

古代のロマン 安宅遺跡発掘される

竜丘地区は県下でも有数の古墳の宝庫です。貴重な財産でありながら、時代の推移とともに現在の社会情勢の中では、様々な開発も避けて通ることはできず、現状のまま後世に残し伝えていくことが困難となっており、その為記録保存によって後世に伝える方法が取られている。

現在、駄科地区にある安宅遺跡で行われている緊急発掘調査は、県道駄科・大瀬木線改良に伴い七月上旬から飯田市教育委員会が行っている。

安宅遺跡は、駄科神社から東側にかけての一角で、パイパス建設や民間開発に先立ち、これまで二度にわたり調査を実施している。

柱列址は具体的には堀、或いは仕切りが想定でき、両側に排水を目的とした溝址があることから、区画施設として一体となり機能し東山道にかかわる遺跡と考えられ、厩舎等の施設があることから「郷」の役所があっ

柱列址は具体的には堀、或いは仕切りが想定でき、両側に排水を目的とした溝址があることから、区画施設として一体となり機能し東山道にかかわる遺跡と考えられ、厩舎等の施設があることから「郷」の役所があっ

今回の調査で出土した遺物から判断して、古墳時代後期から奈良時代と推定される。更に建物址群と密接



まさに、遺跡の中の国道

この九月より月一日の休みが増え子供達の生活が大きく変化するとは考えにくい、「塾通いが増える」とか、「時間をもてあます」など様々に推測されているが、子供達はおとなの心配をよそにけっこう楽しみにしている様である。



上川路での親子史跡めぐり

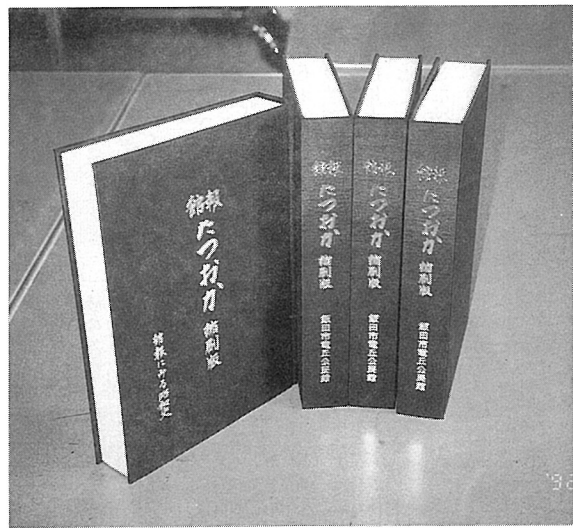
“おまたせしました” 館報縮刷版発刊

館報たつおか第二号 思います。

の発行を機に取り組んできました縮刷版がこの程発行の運びとなりました。編集に際しまして、数々の貴重な資料を提供して下さった皆様や、ご協力

いただいた各種団体の皆さんに心からお礼を申し上げます。また発行が当初予定より遅れましたことにつきましてお詫言申し上げます。

さて、早速配布し、盆前には皆様の手元に届いた事と思えます。サブタイトル「館報」にみる昭和史の通り、昭和五年の竜丘時報の発行そして戦後昭和二十三年第一号発行以来の竜丘地区の姿貌が、時代の流れと共に刻々と刻まれていく様に



完成した館報縮刷版

約八百ページに及ぶ縮刷版ですから、まだ目を通しないうちにも多いでしょうが、感想や当時の思い出などありましたら気軽に公民館までお寄せ下さい。折々紹介したいと思えます。長期間に渡る発刊事業でしたが、地域の皆様によって支えられ無事発刊できました。

編集委員会として、この紙面をおかりして、御礼申し上げます。

私達の住むこの竜丘も、近年大きく様変わりしているが、おとなの生活以上に子供達の生活環境は変わって来ているはずである。

この制度により子供達の生活の中で自分の生まれた地域、環境を見つめる時間が増えたとしたら、すばらしい事だろう。私達は子供らしさを求めるのではなく、子供の見方、考え方を大切にし見守ってゆきたいものである。

ソフト バレーボール 大会結果

平成四年度常会交流ソフトバレーボール大会が、七月十二日(日)竜丘小学校で開催された。各分館共、実力伯仲し、男子の部では二分館の優勝、女子の部でも得失点数で優勝が決まった。結果は次のとおり。

優勝	駄科分館
三位	上川路分館
四位	長野原分館
五位	時又分館
優優勝	駄科分館
三位	上川路分館
四位	時又分館
五位	長野原分館